

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 鳥井学園 明泉寺幼稚園

1. 本園の教育目標

心身共に健康で人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- ・明るく元気な子ども
- ・素直で思いやりのある子ども
- ・よく考えて正しく行動できる子ども
- ・最後までがんばりぬく子ども

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

幼小接続の観点から「あいさつ・聞く力・集中する力」の3項目を重点目標として学級経営に取り入れ、1年間実践を続ける。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
「幼小継続指導3項目」への具体的取組	B	遊びや活動の中で意識的に集中力を養う取組を行った。短時間で達成感を得られる課題を設定し、子どもたちが意欲的に取り組めるように支援したり、製作活動や運動遊びを通して、集中して取り組むことの楽しさを経験させたりすることで、興味のある活動に対しては長く集中する姿が見られるようになってきた。
教師としての資質や保育の質の向上	A	教育目標や幼児の実態から学級目標を立て、学級経営案に沿って目標達成に向けての具体的な実践に取り組み、お互いに情報交換をし、きめ細かな指導に努めることができた。
特別支援教育	B	特別支援教育研修会をはじめ、教職員間の情報交換を密に行い、対象児やその保護者と丁寧に関わり、進級・就学に向けて一定の成果を上げることができた。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	「重点目標」に向け、全教職員が共通理解し、1つ1つの課題解決に向けて取り組んだ。その結果、保護者の「教育活動に関するアンケート」からも総合的に肯定的な評価を得ることができた。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	子どもが主体的に考え、意欲的に行動できる楽しい幼稚園を目指し、さらなる研究の深化を図る。
保護者との連携	より子どもの育ちや学びの姿が伝わる情報発信を行い、信頼関係の構築を図り、保護者と連携して子育てをしていく体制をつくる。
業務改善と教師の資質向上	デジタルツールを活用し、業務改善に努め時間を確保するとともに、園内での職員研修を計画的・継続的に行い（園外研修の報告会など）、更なる保育の質の向上に努める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

本年度の重点目標についても評価委員会としては、しっかり取り組んでいると思います。また、保護者からも、ほぼ肯定的な評価を得ている点では先生方の努力のたまものだと感謝しています。

今後の取り組む課題においては、今日の保育の取り巻く環境を考慮しながら積極的に取り組んでいただきたいと思います。

令和6年度も大きな事故・ケガなく終えたことに安堵しております。先生方、大変お疲れ様でした。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和7年3月17日